ケーシング出来高図

調 査 名　平成15年度 栗生環第19号 経堂池付近観測孔設置委託

市NO.7

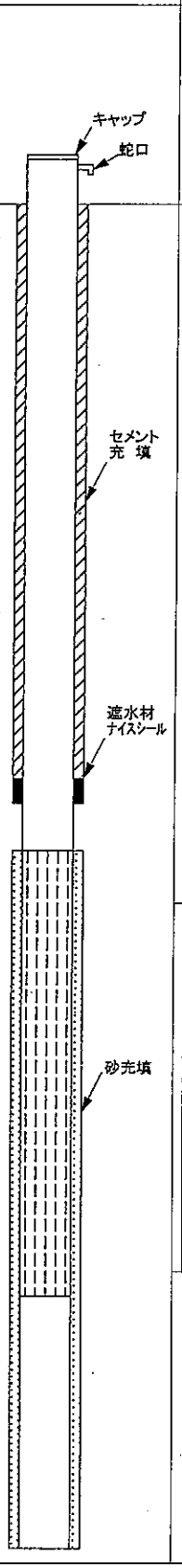
ボーリング名	市観測井No.7		調査位置	滋賀県栗東市小野地先					
発注機関	滋賀県栗東市環境経済部				調査期間	平成15年11月27日～16年1月30日			
調査業者名	株式会社 拓　研	管理技術者			現場代理人			ボーリング責任者	
孔口標高	GH=122.77m	総掘進長	27.00m	試錐機	吉田YBM-05型	エンジン	ヤンマーNS75C	ポンプ	東邦BG－3型

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	土質区分	色調	記事	掘進月日	削孔径
0								
1								
2								
3	119.07	3.70	3.70	粘土	暗褐～暗青灰	含水多い。 粘性強い。 上部有機物混入。 所々砂の薄層挟む。 非常に軟質。		φ131mm
4								
5	117.37	1.70	5.40	シルト混り礫質砂	暗灰	含水多い。細～中砂主体。 φ2～5mmの礫混入。 所々シルト混り砂挟む。		
	116.87	0.50	5.90	砂質礫	暗灰	含水多い。φ2～5mmの礫混入。 砂は中～粗砂。		
6								
7	115.07	1.80	7.70	礫混りシルト質砂	暗灰	含水多い。細～中砂主体。 φ2～5mm程度の礫混入。 所々層厚5cm程度の礫層挟む。		
8							12/15 9.00	
9	113.27	1.80	9.50	シルト質砂	暗灰	含水中位。 シルトを混入する細砂。 所々層厚5cm以下の粘土層挟む。		
10	112.72	0.55	10.05	砂	灰褐	含水多い。細～中砂主体。		
	~~112.57~~	~~0.15~~	~~10.20~~	~~粘土~~	~~灰褐~~			
	112.17	0.40	10.60	砂	灰褐	含水多い。中砂主体。		
11								
12				粘土	褐～暗青灰	含水中位。 粘性強い。 均質な粘土。 13.4m付近より微細砂混入。 13.7m付近湖成鉄挟む。		
13	109.07	3.10	13.70					
14	108.77	0.30	14.00	火山灰	灰	含水中位。シルト混り細砂状。		
15								
16				シルト混り砂	褐～灰褐	16m付近まで含水中位。 以深含水多い。 若干シルトを混入する微細～細砂主体。 所々層厚1～3cmの粘土層挟む。		
17	105.27	3.50	17.50				12/16 17.50	
18	103.87	1.40	18.90	砂	灰褐	含水多い。均質な細砂主体。		
19	102.97	0.90	19.80	砂	灰褐	含水多い。砂は細～粗砂。 若干細礫、シルト混入。		
20	101.97	1.00	20.80	砂	褐	含水多い。 粗砂主体。細礫混入。		
21	101.37	0.60	21.40	シルト混り砂	灰褐	含水中位。シルトを混入する細砂主体。所々礫混入。		
22								
23							12/17 23.00	
24				粘土	暗青灰	含水少ない。 固結粘土。 粘性中位。	12/18 24.00	
25								
26								
27	95.77	5.60	27.00				12/19 27.00	

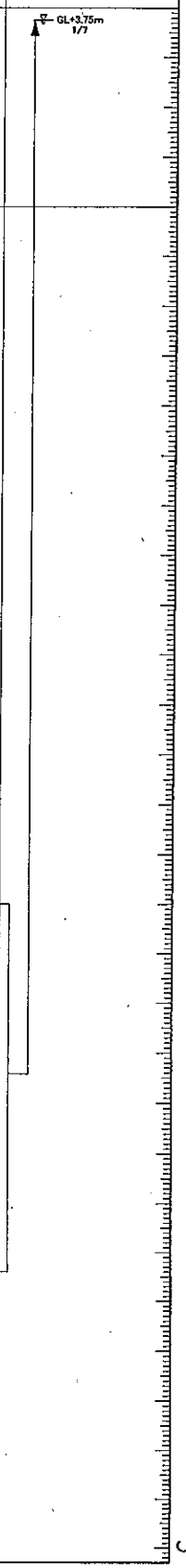
ケーシング出来高

材質	形状	充填材	遮水材	備考
SGP 80A 黒	+1.00	キャップ		
	+0.90			
	0.10	無孔管 1.00 m		
	無孔管 5.45 m			
	5.55			
	無孔管 5.45 m			
	11.00			
	全長 5.45 m		11.50	
			12.00	
	無孔部 1.95 m + 有孔部 3.50 m			12.95
	16.45	砂		ストレーナー加工開孔率 4.5% + 防砂ネット巻
	有孔管 5.45 m			
	21.90			21.90
	無孔管 5.10 m			
	27.00			

ケーシング出来高図



地下水位測定月日 GL±m



ケーシング出来高図

調 査 名　平成15年度 栗生環第19号 経堂池付近観測孔設置委託

市NO,7－2

ボーリング名	市観測井No.7-2		調査位置	滋賀県栗東市小野地先					
発注機関	滋賀県栗東市環境経済部			調査期間	平成15年11月27日～16年1月30日				
調査業者名	株式会社 拓　研	管理技術者		現場代理人				ボーリング責任者	
孔口標高	GH=122.67m	総掘進長	9.00mn	試錐機	吉田YBM-05型	エンジン	ヤンマーNS75C	ポンプ	東邦BG－3型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	柱状図	土質区分	色調	記事	掘進月日	削孔径	ケーシング出来高 材質	形状	充填材	遮水材	備考	ケーシング出来高図	地下水位測定月日 GL±m
											+1.15	キャップ			キャップ	GL+0.71m 1/7
											+1.05				蛇口	
0											+0.05	無孔管1.00m				
1					粘土	暗褐～暗青灰	含水多い。粘性強い。上部有機物混入。所々砂の薄層挟む。非常に軟質。				無孔管3.50m				セメント充填	
2								12/24 3.00					2.80		ベントナイトペレット	
3	119.07	3.60	3.60								3.45		3.30	3.45		
4					シルト混り礫質砂	暗灰	含水多い。細～中砂主体。φ2～5mmの礫混入。所々シルト混り砂挟む。		φ131mm	SGP 80A 黒	全長5.55m 有孔部4.55m＋無孔部1.00m	砂		ストレーナー加工開孔率4.5%＋防砂ネット巻		
5	117.37	1.70	5.30												砂充填	
	116.87	0.50	5.80		砂質礫	暗灰	含水多い。φ2～5mmの礫混入。砂は中～粗砂。									
6					礫混り シルト質砂	暗灰	含水多い。細～中砂主体。φ2～5mm程度の礫混入。所々層厚5cm程度の礫層挟む。									
7	115.07	1.80	7.60											8.00		
8					シルト質砂	暗灰	含水中位。シルトを混入する細砂。所々層厚5cm以下の粘土層挟む。	12/25 9.00								
9	113.27	1.40	9.00								9.00					

ケーシング出来高図

調 査 名　平成15年度 栗生環第19号 経堂池付近観測孔設置委託

市NO,8

ボーリング名	市観測井No.8	調査位置	滋賀県栗東市小野地先				
発注機関	滋賀県栗東市環境経済部			調査期間	平成15年11月27日～16年1月30日		
調査業者名	株式会社 拓　研	管理技術者		現場代理人		ボーリング責任者	
孔口標高	GH=129.43m	総掘進長	22.00m	試錐機	吉田YBM-05型	エンジン	ヤンマーNS75C	ポンプ	東邦BG－3型

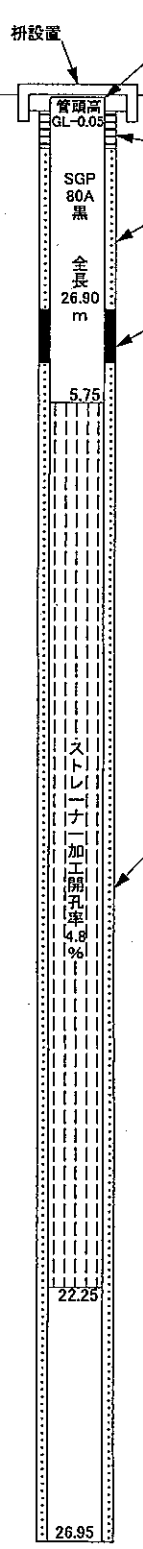
標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	記事	掘進月日	削孔径	ケーシング出来高 材質	形状	充填材	遮水材	備考	ケーシング出来高図	地下水位測定月日 GL-m
											+1.10	キャップ			キャップ	
0											無孔管 2.50 m					
1					埋土		玉石混入。ビニール、プラスティック等混入。				1.50					GL-1.23m 1/14
2	127.13	2.30	2.30												セメント充填	
3					砂混り粘土						無孔管 5.45 m					
4	125.13	2.00	4.30													
5	124.43	0.70	5.00		シルト混り砂											
6	123.13	1.30	6.30		粘土											
7	122.13	1.00	7.30		砂						6.95				遮水材ナイスシール	
8					シルト				φ131mm	SGP 80A 黒	全長 5.45 m		8.00			
9													8.50			
10	119.03	3.10	10.40								無孔部 2.95 m + 有孔部 2.50 m			9.90		
11					砂・シルト互層									ストレーナー加工開孔率 4.5% + 防砂ネット巻		
12	116.93	2.10	12.50								12.40					
13					細砂										砂充填	
14	114.93	2.00	14.50								有孔管 5.45 m					
15					中砂							砂				
16	113.03	1.90	16.40				16.3m付近礫混入。									
17																
18								1/8 18.00			17.85			17.85		
19					粘土						無孔管 4.15 m					
20																
21																
22	107.43	5.60	22.00					1/9 22.00			22.00					
23																
24																
25																
26																
27																
28																

ケーシング出来高図

調 査 名　平成16年度 栗生環第31号 処分場西側観測孔設置委託　**市NO,9**

ボーリング名	市観測井No.9	調査位置	滋賀県栗東市小野地先				
発注機関	栗東市 環境経済部 産業廃棄物対策室			調査期間	平成17年3月1日～17年3月12日		
調査業者名	株式会社 拓 研	管理技術者		現場代理人		ボーリング責任者	
孔口標高	GH=133.67m	総掘進長	27.00m	試錐機	東邦D-1型	エンジン	ヤンマーNS75C	ポンプ	東邦BG－3型

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	土質区分	色調	記事	掘進月日	削孔径	ケーシング出来高 材質	形状	充填材	遮水材	備考	地下水位 測定月日 GL-m
0	132.87	0.80	0.80	盛土	暗灰	0.5mまで砕石、以深シルト混り細砂主体		φ131mm	0.05	無孔管1.0m	0.30 粘土			
1				粘土	黄褐	含水やや多い。粘性強い。所々、少量細砂混入。				無孔管2.0m	1.00 豆砂利			
2	130.57	2.30	3.10											
3	129.87	0.70	3.80	粘土質砂	黄褐	含水やや多い。全体に粘土を混入する細砂。				無孔管2.7m	4.00	4.00 ベントナイトペレット		
4				粘土	褐～灰褐	含水少ない。固結粘土。下部微細砂混入。					遮水材 5.00	5.00		
5	128.17	1.70	5.50											
6	127.47	0.70	6.20	シルト質砂	褐～灰褐	含水少ない。全体にシルトを混入する微細砂。							5.75	
7	125.87	1.60	7.80	砂質礫	黄褐	含水中位～やや多い。φ2～10mm位の礫主体。砂は淘汰不良で細～粗砂。				有孔管2.7m				
8														
9				礫質砂	黄褐～青灰	含水上部中位、下部多い。砂は淘汰不良で細～粗砂。φ2～10mm位の礫混入。9m以深青灰色	3/1 10.00		SGP 80A 黒 全長 26.90m 無孔管 10.40m 有孔管 16.50m	有孔管2.7m	豆砂利			
10														
11	122.37	3.50	11.30											
12				砂	灰褐～褐～淡青灰	含水多い。細～中砂主体。所々、粗砂混入。12.8～13mシルト混り細砂挟む。				有孔管2.7m			ストレーナー加工開孔率 4.8%	
13														
14	119.17	3.20	14.50											
15				粘土	灰褐～青灰	含水少ない。固結粘土。所々微細砂混入。16.8～17.3m青灰色。	3/2 17.00			有孔管2.7m				
16														
17	115.87	3.30	17.80											
18				シルト質砂	灰褐～褐	含水少ない。全体にシルトを混入する微細砂主体で薄層の粘土挟む。18.2～18.4m粘土挟む。				有孔管2.7m				
19	114.47	1.40	19.20											
20				砂	黄褐～褐	含水中位。20.4m付近まで微細～細砂主体。上部若干シルト含む。20.4m以深細～中砂主体。21.8～21.9mφ5～10mmの礫混入。				有孔管2.0m				
21	111.77	2.70	21.90											
22										有孔管1.0m			22.25	
23				粘土	暗青灰～緑灰～灰	含水少ない。固結粘土。26～26.5m、26.8～27m細粒の硬質な火山灰を挟む。				無孔管2.7m				
24							3/3 25.00							
25										無孔管2.0m				
26														
27	106.67	5.10	27.00				3/4 27.00		26.95					



GL-2.85m 3/1 (無水掘削時)

GL-5.10m 3/12

ケーシング出来高図

調 査 名　平成16年度 栗生環第31号 処分場西側観測孔設置委託　　市NO,10

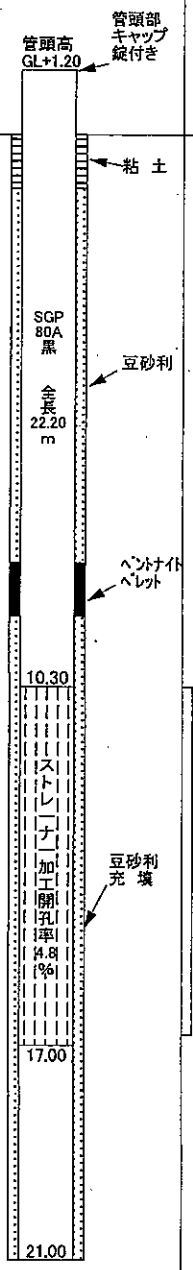
ボーリング名	市観測井No.10	調査位置	滋賀県栗東市小野地先				
発注機関	栗東市 環境経済部 産業廃棄物対策室			調査期間	平成17年3月1日～17年3月12日		
調査業者名	株式会社 拓　研	管理技術者		現場代理人		ボーリング責任者	
孔口標高	GH=128.75m	総掘進長	21.00m	試錐機	YBM-05型	エンジン	ヤンマーNS75C	ポンプ	東邦BG－3型

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	記事	掘進月日	削孔径
0									
1	127.55	1.20	1.20		礫混り粘土	黄褐	含水中位。粘性強い。φ2～5mm位の礫混入。		
2					粘土	黄褐～灰褐	含水やや多い。粘性強い。2.3～2.6m青灰色を呈し、含水多く軟質。下部、所々薄層の砂層挟む。		
3	125.45	2.10	3.30						
4					砂	黄褐	含水多い。均一な細砂主体。4.7m以深中～粗砂混入。		
5	123.55	1.90	5.20						
6					粘土	灰褐～暗青灰～黄褐	含水少ない。固結粘土。5.9～6.3m腐植物混入。下部微細砂混入。		
7									
8								3/7 8.00	
9									
10	118.45	5.10	10.30						
11					礫質砂	褐～灰褐	含水多い。中～粗砂。φ2～10mm位の礫混入。16.6m付近湖成鉄挟む。		
12									
13									
14									
15									
16								3/8 16.00	
17	111.95	6.50	16.80						
18					粘土	灰褐～青灰～暗褐	含水少ない。固結粘土。18.4～18.95m暗褐色を呈し、腐植物混入。		
19									
20									
21	107.75	4.20	21.00					3/9 21.00	
22									
23									
24									
25									
26									
27									

ケーシング出来高

材質	形状	充填材	遮水材	備考
SGP 80A 黒 全長 22.20m 無孔管 15.50m 有孔管 6.70m	+1.20 無孔管 1.0m			
	無孔管 2.7m	粘土 1.00		
	無孔管 2.7m	豆砂利		
	無孔管 2.7m			
	無孔管 2.7m			
	無孔部 2.4m + 有孔部 0.3m	8.00	8.00	
		遮水材 9.00	ベントナイトペレット 9.00	
	有孔管 1.0m	豆砂利		10.30
	有孔管 2.7m			ストレーナー加工開孔率 4.8%
	有孔管 2.7m			
	無孔管 2.0m			17.00
	無孔管 2.0m			
21.00		21.00		

ケーシング出来高図



地下水位測定日 GL-m

- GL-0.88m 3/12
- GL-2.15m 3/7 (無水掘削時)

ボーリング柱状図・ケーシング出来高図

事前NO,1

ボーリングNo.

調査名　平成16年度 栗生環第30号 処分場西側事前ボーリング調査

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	栗東市小野地先			北緯	
発注機関	栗東市役所　環境経済部産業廃棄物対策室			調査期間	平成16年11月11日～16年11月12日	東経	
調査業者名	株式会社 拓研 電話 (075-525-1210)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+132.41m	角度	上 180° 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	10.00m	使用機種	試錐機	ワイビーエム製 ECO-1VH-C型	ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位m／測定月日
1	131.01	1.40	1.40		粘土質砂礫	暗褐			含水中位。φ40mm以下の亜角礫主体。古琵琶湖粘土の盛土材含む。	1/1 1.45
2	129.91	1.10	2.50		砂質粘土	黄褐～青灰			含水多い。細砂を多く混入する。粘性強い。腐植物点在。2～3m掘進後被圧水を確認。	
3	128.61	1.30	3.80		砂混り粘土	青灰			含水多い。細砂を混入する。粘性強い。2.5～2.7m腐植土挟む。腐植物点在。	1/17 3.46
4	127.61	1.00	4.80		粘土	褐			含水多い。均質な粘土。粘性強い。	
5 6 7	124.81	2.80	7.60		砂混り粘土	褐～青灰			含水多い。全体に若干細～中砂を混入する。粘性強い。	
8 9 10	122.41	2.40	10.00		礫質砂	黄褐～青灰			粒径不均一な細～粗砂主体。φ2～10mmの亜円礫多く混入。7.6～7.8m付近粘土分混入。	

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値 0 10 20 30 40 50 60

ケーシング出来高

材質 VP50

GL-8.25m

GL-10.25m

ストレーナー加工

掘進月日

ボーリング柱状図・ケーシング出来高図

事前NO,2

ボーリングNo.

調査名　平成16年度 栗生環第30号 処分場西側事前ボーリング調査

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.2	調査位置	栗東市小野地先			北緯	
発注機関	栗東市役所　環境経済部産業廃棄物対策室			調査期間	平成16年11月10日～16年11月11日	東経	
調査業者名	株式会社 拓　研 電話 (075-525-1210)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+132.52m	角度	上 180° 90° 0° 下	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 90° 南西
総掘進長	10.00m	使用機種		試錐機	ワイビーエム製　ECO-1VH-C型	ハンマー落下用具	
				エンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	132.07	0.45	0.45		砕石	黒			上部3cmアスファルト　以深砕石
1	131.67	0.40	0.85		シルト質砂礫	暗黄褐			含水少ない。φ5～30mmの亜円～亜角礫主体。全体にシルト混入。
	130.92	0.75	1.60		シルト質砂	黄褐			含水中位。細砂主体。細礫少量混入。1.6m付近腐植物挟む。
2	130.37	0.55	2.15		礫混りシルト質砂	黄褐			含水中位。全体にシルトを混入する細砂主体。φ5～20mmの礫混入。
3					砂混り粘土	青灰～黄褐			含水多い。細～中砂を混入。粘性強い。2～3m掘進後被圧水を確認。 2.15～2.8m薄層の砂挟む。 2.3～2.4m腐植土挟む。
4	128.72	1.65	3.80		粘土	褐			含水多い。均質な粘土主体。粘性強い。
	127.97	0.75	4.55						
5					砂混り粘土	褐～暗黄褐			含水多い。 細～中砂を混入する粘土。 粘性強い。 6m以深砂分多くなり、最下部礫混入。
6									
	125.82	2.15	6.70						
7					礫質砂	黄褐～青灰			含水中位～多い。 粒径不均一な細～粗砂が主体。 φ2～10mm位の亜円礫を多く混入。 8.9m以深青灰色。
8									
9									
10	122.52	3.30	10.00						

孔内水位m／測定月日	深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値 0 10 20 30 40 50 60
1/10 1.40						
1/17 3.59						

ケーシング出来高

材質 VP50

GL-8.00m

GL-10.00m

ストレーナー加工

掘進月日

11/10

ボーリング柱状図・ケーシング出来高図

事前NO,3

調査名　平成16年度　栗生環第30号　処分場西側事前ボーリング調査

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	栗東市小野地先			北緯	
発注機関	栗東市役所　環境経済部産業廃棄物対策室			調査期間	平成16年11月8日～16年11月9日	東経	
調査業者名	株式会社　拓　研 電話（077-525-1210）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+132.55m	角度	上 180°　90°　下 0°　0°	方向	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	地盤勾配	水平 0°　鉛直 90°
総掘進長	10.00m	使用機種	試錐機	ワイビーエム製　ECO-1VH-C型		ハンマー落下用具	
			エンジン			ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 m／測定月日
	132.15	0.40	0.40		砕石	黒			上部3cmｱｽﾌｧﾙﾄ　以下砕石	
1	131.25	0.90	1.30		シルト質砂	黄褐			含水中位。全体にシルトを混入する細砂主体。 0.7～0.8mφ5～30mmの礫混入。	11/8 1.50
2	130.55	0.70	2.00		礫混りシルト質砂	暗黄褐			含水少ない。全体にシルトを混入する細～中砂主体。φ2～30mmの礫混入。	
3					砂混り粘土	黄褐～淡青灰			含水非常に多い。 全体に細砂を混入。 粘性弱い。 非常に軟質。 3.6～4m付近均質な粘土挟む。 2～3m掘進後被圧水を確認。	11/17 3.64
4										
5										
	126.80	3.75	5.75							
	126.65	0.15	5.90							
6	126.45	0.20	6.10		粘土	褐			含水中位。シーム状の細砂挟む。	
					砂	褐			含水少ない。シルト質細砂。	
	125.85	0.60	6.70		礫混り粘土質砂	黄褐			含水多い。全体に粘土を含む細～粗砂。φ2～20mmの礫混入。	
7										
8					礫質砂	黄褐～青灰			含水多い。 粒径不均一な細～粗砂が主体。 φ2～10mm位の亜円礫を多く混入。	
9									8.6m以深青灰色を呈する。	
10	122.55	3.30	10.00							

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値 0 10 20 30 40 50 60

ケーシング出来高

掘進月日	材質	工法
11/8	VP50	ストレーナ加工
11/9		

GL-6.00m

GL-9.00m

ボーリング柱状図・ケーシング出来高図

事前NO,4

ボーリングNo.

調査名　平成16年度 栗生環第30号 処分場西側事前ボーリング調査

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.4	調査位置	栗東市小野地先			北緯	
発注機関	栗東市役所　環境経済部産業廃棄物対策室			調査期間	平成16年11月12日～16年11月13日	東経	
調査業者名	株式会社　拓　研 電話（077-525-1210）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	±132.53m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 90°釣 90°逆
総掘進長	10.00m	使用機種	試錐機	ワイビーエム製　ECO-1VH-C型	ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位m／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量cm	N値 0 10 20 30 40 50 60	ケーシング出来高	掘進月日
	132.03	0.50	0.50		粘土質砂礫	暗灰			含水中位。上部5cmｱｽﾌｧﾙﾄ　φ5～30mmの角礫主体。	11/12 1.05								
1					シルト質砂	黄褐			含水中位。全体にシルトを混入する細砂主体。φ2～10mmの礫点在。									
2	130.53	1.50	2.00															
3					砂混り粘土	黄褐～青灰			含水多い。粘性強い。細～中砂混入する粘土主体。2.6～3m付近薄層の砂層挟む。腐植物点在。2m付近より被圧水を確認。	11/17 3.62								
4	128.83	1.70	3.70														材質 VP50	
5	127.08	1.75	5.45		砂混り粘土	褐～青灰			含水多い。細～中砂を混入する粘土。粘性強い。									
6	126.33	0.75	6.20		砂混りシルト	褐			含水やや少ない。粘性弱い。細砂混入。									
7					礫質砂	黄褐～青灰			含水多い。粒径不均一な細～粗砂。φ2～10mm位の亜円礫を多く混入。									
8																	GL-8.15m	
9																	ストレーナー加工	
10	122.53	3.80	10.00														GL-10.15m	11/12

ボーリング柱状図・ケーシング出来高図

事前NO,5

ボーリングNo.

調査名　平成16年度 栗生環第30号 処分場西側事前ボーリング調査

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.5	調査位置	栗東市小野地先			北緯	
発注機関	栗東市役所　環境経済部産業廃棄物対策室			調査期間	平成16年11月13日～16年11月15日	東経	
調査業者名	株式会社 拓研 電話 (077-525-1210)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	±132.74m	角度	上 180° 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	前面 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	ワイビーエム製 ECO-IVH-C型	ハンマー落下用具	
総掘進長	10.00m								エンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	131.79	0.95	0.95		粘土質砂礫	暗灰			含水中位。φ5～50mmの角礫主体。全体に粘土分混入。
1	131.24	0.55	1.50		シルト質砂	黄褐			含水中位。全体にシルトを混入する細砂。
2	130.34	0.90	2.40		砂質粘土	黄褐～青灰			含水多い。全体に細砂混入。粘性中位。2～3m掘進後被圧水確認。
3					砂混り粘土	青灰～黄褐			含水多い。細～中砂を混入。粘性強い。最上部腐植物混入。3.5～3.9m付近1cm前後の細～中砂層挟む。
4	127.99	2.35	4.75						
5	127.19	0.80	5.00		砂混り粘土	褐～褐灰			含水やや少ない。粘性中位～強い。所々細砂混入。
	126.99	0.20	5.20		火山灰	灰			含水少ない。均質な細粒火山灰。
6	126.34	0.65	5.85		砂質シルト	黄褐			含水少ない。粘性弱い。全体に細砂混入。
	126.15	0.19	6.04		砂	褐			含水中位。シルト混り細砂。
7									
8					礫質砂	褐～黄褐～青灰			含水多い。粒径不均一な細～粗砂主体。φ2～10mmの亜円礫を多く混入。
9									
10	122.74	3.45	10.00						

孔内水位m／測定月日：1/13 1.00 ▽　1/17 3.80 ▽

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値 0 10 20 30 40 50 60

ケーシング出来高

材質 VP50

GL-8.05m　11/13

GL-10.05m　11/15

ストレーナー加工

掘進月日

ボーリング柱状図・ケーシング出来高図

事前NO,6

ボーリングNo.

調　査　名　　平成16年度 栗生環第30号 処分場西側事前ボーリング調査

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.6	調査位置	栗東市小野地先			北　緯	
発注機関	栗東市役所　環境経済部産業廃棄物対策室			調査期間	平成16年11月15日～16年11月16日	東　経	
調査業者名	株式会社　拓　研 電話（077-525-1210）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	+132.81m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	10.00m	使用機種	試錐機	ワイビーエム製　ECO-1VH-C型	ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位m／測定月日	深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量cm	N値 0 10 20 30 40 50 60	ケーシング出来高	掘進月日
	132.41	0.40	0.40		粘土混り砂礫	暗灰			含水中位。φ5～40mmの角礫主体。									
1	131.61	0.80	1.20		シルト質砂	黄褐			含水少ない。全体にシルトを混入する細砂。	1/15 1.10								
2	130.31	1.30	2.50		砂質粘土	黄褐～青灰			含水多い。粘性中位。全体に細砂混入。所々砂分を多く混入。									
3					砂混り粘土	青灰～黄褐			含水多い。 細～中砂を混入する粘土主体。 粘性強い。 2.5～2.7m付近均質な粘土。 3.4～3.6m付近細～中砂層挟む。	1/17 3.64								11/15
4	128.41	1.90	4.40														材質 VP50	
5	127.51	0.90	5.30		粘土	黄褐～褐灰			含水中位～やや少ない。均質な粘土。粘性強い。									
	127.01	0.50	5.80		火山灰	灰			含水少ない。均質な細粒火山灰。粘性弱い。									
6	126.36	0.65	6.45		砂質シルト	褐			含水少ない。粘性弱い。全体に細砂混入。									
7					礫質砂	黄褐～青灰			含水多い。 粒径不均一な細～粗砂が主体。 φ2～10mmの亜円礫を多く混入。									
8																	GL-7.90m	
9																	スクリーン加工	
10	122.81	3.55	10.00														GL-9.90m	11/16

ボーリング柱状図・ケーシング出来高図

事前NO，7

ボーリングNo.

調　査　名　　平成16年度 栗生環第30号 処分場西側事前ボーリング調査

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.7	調査位置	栗東市小野地先			北　緯	
発注機関	栗東市役所　環境経済部産業廃棄物対策室			調査期間	平成16年11月16日～16年11月17日	東　経	
調査業者名	株式会社　拓　研 電話（077-525-1210）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+135.53m	角度	上 180°　下 0°　90°	方向	北 0°　西 270°　東 90°　南 180°	地盤勾配	水平 0°　前面 90°
総掘進長	12.00m	使用機種	試錐機	ワイビーエム製　ECO-1VH-C型	ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位m／測定月日
	135.08	0.45	0.45		砕石	暗灰			上部5cmｱｽﾌｧﾙﾄ　φ30mm以下の角礫主体。	
1					砂混り粘土	黄褐～暗青灰			含水中位。粘性強い。不均質に細砂混入。	1/16 1.90
2	133.63	1.45	1.90							
3					粘土質砂	黄褐			含水多い。全体に粘土を混入する細砂主体。所々粘土分が主体となる部分あり。	
4										
5	130.53	3.10	5.00							
6					砂混り粘土	黄褐			含水多い。粘性強い。不均質に細～粗砂混入。6.3～6.5m付近薄層（1cm）の砂層挟む。	1/17 6.19
7	128.53	2.00	7.00							
	128.08	0.45	7.45		砂	黄褐			含水多い。上部均質な中砂主体。下部細礫と粘土を混入する中～粗砂。	
8	127.53	0.55	8.00		砂混り粘土	黄褐			含水多い。粘性強い。細～粗砂及び細礫混入。	
9					粘土	青灰～黄褐			含水中位。粘性強い。若干細～中砂混入。	
10	125.58	1.95	9.95							
	125.33	0.25	10.20		粘土質砂礫	褐			含水中位。φ2～15mmの亜円礫主体。	
11					礫混り砂	褐～褐灰			含水多い。φ2～5mmの礫を混入する粒径不均一な砂が主体。所々層厚5cm以下の細～中砂層挟む。	
12	123.53	1.80	12.00							

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値 0 10 20 30 40 50 60

ケーシング出来高

材質 VP50

GL-10.00m

GL-12.00m

ストレーナ加工

掘進月日

11/16

11/17

ボーリング柱状図・ケーシング出来高図

事前NO,8

ボーリングNo.

調査名　平成16年度 栗生環第30号 処分場西側事前ボーリング調査

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.8	調査位置	栗東市小野地先			北緯	
発注機関	栗東市役所　環境経済部産業廃棄物対策室			調査期間	平成16年11月16日～16年11月17日	東経	
調査業者名	株式会社 拓研 電話 (077-525-1210)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	+134.61m	角度	180°上 90° 下0° 0	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	10.00m							試錐機	カノボーリング製 KR-SH型	ハンマー落下用具	
								エンジン	ヤンマー製 NS75C型	ポンプ	マルヤマ製 MS-303型

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位m／測定月日	深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値 0 10 20 30 40 50 60	ケーシング出来高	掘進月日
1					砂混り粘土	黄褐			含水1.4m付近まで中位、1.4m以深多い。 粘性強い。 不均質に細～粗砂を混入。 所々均質な粘土を挟む。	1/16 1.24								
2																		
3	130.86	3.75	3.75															
4					粘土	黄褐～褐灰～褐			含水少ない。 粘性強い。 所々細砂混入。								材質 VP50	
5	129.51	1.35	5.10							1/17 5.43								
6	128.51	1.00	6.10		シルト質砂	褐～黄褐			含水少ない。 全体にシルトを混入する均質な微細砂主体。									
7					礫質砂	褐灰～青灰			含水多い。 粒径不均一な細～粗砂が主体。 φ2～10mmの亜円礫を多く混入。									
8	125.81	2.70	8.80														GL-8.00m	11/16
9					礫混り砂	青灰			含水多い。粒径不均一な細～粗砂が主体。 φ2～5mmの細礫混入。								工場内ケーシング	
10	124.61	1.20	10.00														GL-10.00m	11/17

施設NO,1

調査名 B5[illegible]

調査地点 施設工[illegible]側

標高 KP[illegible]

ボーリング孔：No.1 24.852.630m(設置前) 機種 カノーKR-50C 孔内水位(自然水位) −1.140m 調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	土質名	色調	記事
0						黒灰	盛土地の地上にて成る
1							コンクリート 鉄筋 レンガ 木片 ビニール アスファルト その他 ガラ土である
2						黒灰	所々φ40−100㎜のガラ土片 コアーになる 細砂若干混入 OL−2.5−4.50m間 シルト及び粘土が混入し 含水一小位 空間混入
3							シルト混り砂レキ状をなす OL−4.50−5.00m間コンクリート片にてコアー状となる 全体水及び 崩壊しい
4		5.00	5.00		埋土	砂質灰	
5							盛土地の地上にてなる コンクリート片 木片 玉石 ビニール 鉄筋 ヒその他 砂分一部砂若干混入
6							下部シルト分混る
7		7.50	2.50		〃	〃	
8					陸砂 混りシルト	〃	コンクリート片 木片混入 φ2−20㎜のレキ混入
9		9.20	1.70				
0		10.00	0.80		埋土	〃	コエ・プラスチック 木片 コンクリート 鉄筋混入 盛土地にてなる
1		11.30	1.30		〃	〃	コンクリート片、塩ビ管 ビニール、石：鉄筋その他ガラ土 細砂分若干混入
2						黄褐	粘性一中位 シルト分含有する 上部砂分多く 下部砂分増える 所々φ2−5㎜のレキ混入 空間混入
3							
4							
5							
6							下部：粘土分混入し、砂分細砂やや多くなる
7							
8		19.20	7.90		砂混り粘土	暗灰	
9						茶褐	砂混り粘土 含水一小位 空間混入
0		21.00	1.80		〃	黄灰	
1							含水一小位 空間混入 粘土 下部砂若干混入
2		22.40	1.40		〃	黄褐灰	
		22.85	0.45		砂混り粘土	灰 灰	所々、砂 粘土の塊状をなす 空間混入
3						黄褐灰	
4						暗黄灰	粘土 含水一小位
		25.00	2.15		粘土	黒 灰	する OL−24.00m付近より含水一中位 下部ほど大位
5		25.40	0.40		〃	黄 灰	砂分一部砂一中砂 含水一中位 空間混入
		25.80	0.40		砂混り粘土	灰 灰	
6						暗黄灰	砂分一部砂 シルト分含有 空間混入 粘塊状をなす
7							
8						黄 灰	含水一小位一中位 空間混入 所々φ2−5㎜のレキ若干混入する 下部 中一位にて 含水一中位
9							
0		31.00	5.20		粘土	茶褐	
1						茶褐	上部φ2−5㎜のレキ混入 含水一大位 下部φ5−15㎜のレキ混入し砂分一部砂、若干の粘土分混入
2		32.40	1.40		レキ混り砂	黄灰	
3		33.30	0.90		粘土混り砂	〃	上部砂分主体 砂分部分にて 粘土シート 砂質状をなす 所々φ2−10㎜のレキ混入 空間混入 下部粘土分増加
		35.90	0.60		砂レキ	茶褐	φ2−20㎜のレキ混入 砂分一中一細砂 含水一小位 空間混入
4						茶灰	
		35.00	1.10		細砂 粘土	暗灰	シルト分含有する 上部細砂分多く混る 塊状をなす 空間混入 コアー状となる
5							
6							

深さ m	打撃回数	貫入量 cm/cm	10cmごとの打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値
0.65	30		6	14	10	
0.95 / 1.65	26		6	8	12	
1.95 / 2.65	8		3	2	3	
2.95 / 3.65	7		2	2	3	
3.95 / 4.65	12		4	3	5	
4.95 / 5.65	13		4	3	6	
5.95 / 6.65	20		9	6	5	
6.95 / 7.65	7		1	4	2	
7.95 / 8.65	1		1	—	—	
8.95 / 9.65	36		10	19	7	
9.95 / 10.65	24		4	3	17	
10.95 / 11.65	4		2	1	1	
11.95 / 12.65	4		2	1	1	
12.95 / 13.65	6		2	2	2	
13.95 / 14.65	5		2	1	2	
14.95 / 15.65	4		2	1	1	
15.95 / 16.65	6		2	2	2	
16.95 / 17.65	5		2	1	2	
17.95 / 18.65	5		1	2	2	
18.95 / 19.65	50		13	17	20	
19.95 / 20.65	47		16	15	16	
20.95 / 21.65	50 / 25		17	20	13 / 5	
21.90 / 22.65	40		6	9	25	
22.95 / 23.65	50		13	17	20	
23.95 / 24.65	27		8	9	10	
24.95 / 25.65	45		10	15	20	
25.95 / 26.65	25		8	8	9	
26.95 / 27.65	36		11	12	13	
27.95 / 28.65	30		8	9	13	
28.95 / 29.65	32		8	10	14	
29.95 / 30.65	53		14	16	20	
30.95 / 31.65	50 / 25		19	20	11 / 5	
31.90 / 32.65	12		2	5	5	
32.95 / 33.65	50 / 15		35	15 / 5	—	
33.80 / 34.65	47		11	16	20	
34.95						

試料番号	深さ m	方法(1) 圧(2)
1	0.95	P
2	1.95	P
3	2.95	P
4	3.95	P
5	4.95	P
6	5.95	P
7	6.95	P
8	7.95	P
9	8.95	P
10	9.95	P
11	10.95	P
12	11.95	P
13	12.95	P
14	13.95	P
15	14.95	P
16	15.95	P
17	16.95	P
18	17.95	P
19	18.95	P
20	19.95	P
21	20.95	P
22	21.90	P
23	22.95	P
24	23.95	P
25	24.95	P
26	25.95	P
27	26.95	P
28	27.95	P
29	28.95	P
30	29.95	P
31	30.95	P
32	31.90	P
33	32.95	P
34	33.80	P
35	34.95	P

施設NO,2

調査年月日 平成7年 1 月 17 日 ～ 〃 年 1 月 21 日

標 高 KBM+0.12 m

ボーリング孔 No.2 (設置前) 機種 カノーKR-50C 孔内水位(自然) −13.80 m 調査責任者

深さ m	打撃回数 / 貫入量 N/cm	10cmごとの打撃回数 10cm	20cm	30cm	試料番号	測定番号	深さ m	方法 (注1) (注2)
0.65	38	8	12	18	1		0.95	P
0.95 / 1.65	22	6	7	9	2		1.95	P
1.95 / 2.65	7	2	2	3	3		2.95	P
2.95 / 3.65	4	2	2	2	4		3.95	P
3.95 / 4.65	25	3	7	15	5		4.95	P
4.95 / 5.65	28	9	9	10	6		5.95	P
5.95 / 6.65	16	7	6	3	7		6.95	P
6.95 / 7.65	13	3	3	7	8		7.95	P
7.95 / 8.65	40	7	13	20	9		8.95	P
8.95 / 9.65	30	9	11	10	10		9.95	P
9.95 / 10.65	20	6	4	10	11		10.95	P
10.95 / 11.65	14	3	5	4	12		11.95	P
11.95 / 12.65	21	6	5	10	13		12.95	P
12.95 / 13.65					14		13.95	
13.95 / 14.65	9	5	3	3	15		14.95	P
14.95 / 15.65	14	2	3	9	16		15.95	P
15.95 / 16.65	9	3	3	3	17		16.95	P
16.95 / 17.65	9	3	3	3	18		17.95	P
17.95 / 18.65	15	4	5	6	19		18.95	P
18.95 / 19.65	19	6	6	7	20		19.95	P
19.95 / 20.65	21	4	6	11	21		20.95	P
20.95 / 21.65	20 / 50	20	30	—	22		21.85	P
21.85 / 22.65	50	10	19	21	23		22.95	P
22.95 / 23.65	40	10	14	16	24		23.95	P
23.95 / 24.65	17	5	6	6	25		24.95	P
24.95 / 25.65	45	10	15	20	26		25.95	P
25.95								

深さ m	土質名	色調	記事
0.65	盛土	黒灰	上部アスファルト片 石片 ゴム (タイヤ) レンガ ビニール 鉄筋 塩ビ管 その他 廃棄物多くて成る。 砂分一部砂利入
7.00	盛土	暗灰	〃 木片 コンクリート片 瓦片 塩ビ ビニール ビモ アスファルト片 レンガ片 その他 産業廃棄物多くて成る。
12.00	粘土	黒灰	コンクリート片 砂くず ビニール レンガ 木片 その他 産業廃棄物多くて成る
13.00	粘土	暗灰	下位は粘土分かり 粘土一部一大位 空洞侵入する
18.90	砂質粘土	黄灰	GL−16.85〜16.95m間 砂分を介在する。 GL−18.00付近より貝殻少々混入し、粘土分一部タイヤ 35cm程度に成ひ。
21.00	粘土	黄灰	粘土分 粘土一大位 空洞侵入 所々砂分混入に介在する 含水一小位
21.85	〃	黄灰	粘土 含水一小位 空洞侵入
22.40	砂質粘土	黄灰	含水一小位 空洞侵入
22.70	〃	黄灰	砂分一中一粗砂 粘土一大位 空洞侵入
23.00	シルト質粘土	黄灰	シルト質粘土
24.65	粘土	青灰	粘土
25.00	砂質粘土	青灰	砂質粘土
26.00	粘土	青灰	粘土 含水一小位 空洞侵入

備考

(注1) 試料採取方法の記号
T：シンウォールサンプラー F：フェイルサンプラー
P：標準貫入試験用サンプラー O：オーガー
D：デニソン型サンプラー

(注2) 原位置試験方法の記号

(社)土質工学会 不許複製 1701

溶融NO,1

ボーリング名	No.1	調査位置	滋賀県東太郎郡東町小野字西			北緯	
発注機関	三谷商事株式会社			調査期間	平成10年 9月17日～10年 9月21日	東経	
調査業者名	株式会社総合技術コンサルタント 電話(075-312-0659)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TBM +0.111m	角度	180° 上 / 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 傾斜 90°
総掘進長	25.50m					伸縮機	

試錐機	BELL MT-2	ハンマー落下用具	フリーリー				
エンジン	ヤンマー NFD-12	ポンプ	BELL ピストン				

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	含水 (○:大 △:中 ×:少)	孔内水位 (m)/測定月日
	-0.86	1.00	1.00		表層土	暗灰			シルト混り砂礫主体 含水小 若干のアスファルト片混入		
1											
2					高盛土	暗灰			ゴミ混り土砂主体 所々ナイロン，木片，塩ビ等その他色々混入する 含水中位で所々多い部分あり 全体にコンクリート片若干混入 3.40m付近ナイロン多く混入		
3											
4	-4.86	3.86	4.86								
5	-5.46	0.60	5.46		盛土	暗灰			砂礫主体 含水小 コンクリート片多量に混入		9/19 5.15
6					高盛土	暗灰			粘混り砂質シルト主体 含水中 若干コンクリート片，ゴミ等混入		
7	-8.46	3.00	7.46								
	-9.06	0.60	8.06		粘混り砂	暗灰			含水中 粘性中 下部暗灰		
8					砂質粘土	暗灰～黒灰			含水中～小 粘性中 粘土質砂状 若干の植物混入	×	
	-8.76	1.70	8.96								
9	-9.26	0.50	9.46		粘土質砂	暗灰			細砂主体 含水小	×	
10					砂質粘土	暗灰			含水中～小 粘性中 所々粘土質砂（貝殻）状	×	
11										×	
12	-12.16	2.90	12.36							×	
13					砂	黄灰～黄褐			含水小 粒子均一 細砂～細砂主体	×	
14	-13.86	1.70	14.06								
15	-15.46	1.60	15.66		砂	黄灰～暗黄灰			細砂主体 含水中～大 粒子均一 所々粘分多の部混入	×	
16	-16.26	0.80	16.46		粘土	黄灰			含水小 粘性大	×	
	-16.56	0.30	16.76		粘土質砂	茶褐			含水小 粘混砂主体		
17					粘土	青灰			含水小 粘性大 極少量の植物状混入	×	
18										×	
19	-18.96	2.40	19.16							×	
	-18.76	0.80	19.96		砂質粘土	暗灰～黄褐			含水小 粘性中	×	
20	-20.46	0.68	20.64		粘土質砂	暗黄灰			細砂主体 含水小 粒子均一	×	
21					砂	暗黄灰			細砂主体 上部粘土質砂状 含水小 粒子均一 23.25～23.50m間炭化部混入	×	
22										×	
23	-23.36	2.70	23.54							×	
24					砂	黄灰			細砂主体 上部粘土質砂状 含水中 粒子均一	△	
25	-25.36	2.00	25.54							△	
26											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値
8.15	12	13	13	38/30	38
8.45					
9.15	4	6	7	17/30	17
9.45					
10.15	6	7	8	21/30	21
10.45					
11.15	12	14	13	39/30	39
11.45					
12.15	9	15	17	41/30	41
12.45					
13.15	11	13	14	38/30	38
13.45					
14.15	11	13	17	41/30	41
14.45					
15.15	8	9	10	27/30	27
15.45					
16.15	7	9	14	30/30	30
16.45					
17.15	7	8	10	25/30	25
17.45					
18.15	11	12	15	38/30	38
18.45					
19.15	15	17	19	51/30	51
19.45					
20.15	10	10	11	31/30	31
20.45					
21.15	13	14	15	42/30	42
21.45					
22.15	11	12	15	38/30	38
22.45					
23.15	18	42/8		60/18	
23.45					
24.15	9	12	15	36/30	36
24.45					
25.15	11	13	18	42/30	42
25.45					

凡例 —○— 実測N値(回) —●— 修正N値(回)

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
	B
	Kc1
	Ks1
	Kc1
	Ks1
	Kc2
	Ks2
	Kc2
	Kc2
	Ks3

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
8.15	1			9月
8.45				
9.15	2			
9.45				
10.15	3			
10.45				
11.15	4			
11.45				
12.15	5			
12.45				
13.15	6			
13.45				
14.15	7			
14.45				
15.15	8			
15.45				
16.15	9			
16.45				
17.15	10			
17.45				
18.15	11			
18.45				
19.15	12			
19.45				
20.15	13			
20.45				
21.15	14			
21.45				
22.15	15			
22.45				
23.15	16			
23.45				
24.15	17			
24.45				
25.15	18			
25.45				

51